

令和6年度 2年次生 学びのプラン

教科名	総合的な探究の時間	単位数 (コマ数)	1単位 (1コマ)	履修年次	2年次
科目名	C=プロジェクト	履修	必修	開講	通年
教科書	なし	副教材	スタディサプリ探究講座「探究思考BOOK」		

1 学習の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

2 学習の方法

帯広三条高校では、総合的な探究の時間を「C=プロジェクト(通称:Cプロ)」と呼んでおり、2007年に進学重視型の単位制を導入したタイミングで設定されました。その当時と比べて時代は大きく変化しましたが、総合的な探究の時間の目標と一致する部分も多いことから、名称を継続して使っています。

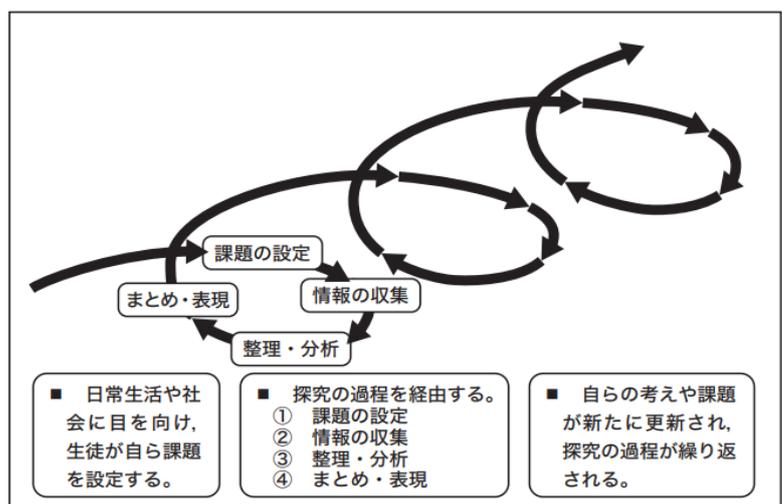
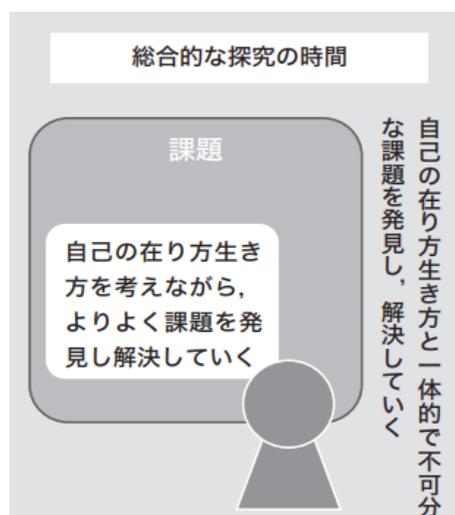
この「C=プロジェクト」では、「**地域と連携・協働した探究的な学びを通して、主体的に学ぶ力を身に付け、主体的な進路選択と進路実現ができるようになる**」ことを3年間の到達点にしており、身につける力は右下の4つです。これらの力はCプロのみではなく、日常の授業や学校生活を通して横断的・探究的に学ぶことで向上させることができます。

<p>【Cプロジェクト:3つのCの由来】</p> <p>① CREATIVITY(創造性・独創性) 習得した知識・技能を基盤とした思考力・判断力・表現力により、創造性や独創性をもって新たな価値を創造していく能力</p> <p>② COMMUNICATION ABILITY(コミュニケーション能力) 他者の考えや異文化を理解・尊重し、主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度・能力</p> <p>③ CRITICAL THINKING(批判的思考) 事物・現象を多様な角度から検討し、論理的・客観的に分析し理解する能力</p>		<p>【総合的な探究の時間で身につける力】</p> <p>①他と協働して課題を解決する力 ・傾聴力 ・発信力 ・想像力 ・創造力</p> <p>②思考・判断・表現する力 ・計画力 ・知識活用力</p> <p>③社会・国際社会を探究する力 ・分析力 ・課題発見力</p> <p>④実現に向けて努力する力 ・自己肯定力 ・行動力</p>
--	---	---

3 評価について ※単元別に後述します。

4 その他 ※図の引用元:【総合的な探究の時間編】高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説

- 探究活動のポイント
- 1・自己との関わり・・・探究活動は、「自分ごと」にできるかがカギです。自分の生き方や進路との関わりを見つけてください。
 - 2・社会との接続・・・将来、社会に出て働く人間として、地域や社会との関わりは必須です。そこで、様々な考え方を身につけます。
 - 3・横断的な学び・・・日頃の授業との関連、地域・社会との関わりなど、探究活動は「すべての学び」につながります。
 - 4・4プロセスの明示・・・1年次では、探究に必要な4つのプロセス(右図)を習得してもらいます。探究活動の土台です。
 - 5・探究サイクルの重視・・・4プロセスを1度行って終了、が探究ではありません。これを繰り返していくことが「探究活動」なのです。



5 単元の目標・評価

科目名	C=プロジェクト		単元名	類型別探究						
単元の目標	地域や社会での出来事を自分事としてとらえ、自身の考えを表現する能力を身につける。									
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・類型(アート・地域課題・教育・サイエンス・医療・国際)は、生徒の皆さん+教員+大学等の関係者+地域の方で構成されるチームで取り組みます。 ・類型ごとに設定されたテーマに基づき、問いを設定して、その問いの解決に向けて取り組みます。 ・適宜、大学等の関係者や地域の方とコミュニケーションを取り、自身の考えを深める場面を作ってください。 ・類型別探究活動を進めるにあたり、実体験を大切にしてください。経験した事柄をもとに自身の想いと考えを深めてください。それが、自身のキャリア形成(将来の職業や進路選択)につながります。 ・類型別探究活動の全体発表会は、1年次生にも参加してもらいます。 ・授業ごとや内容のまとめりに振り返りを行います。自身の取り組みを客観的に見直し、自身の学習改善につなげたり、メタ認知能力を向上させたりしてください。 ・webによる調査、Jambordを用いたアイデアの共有、ドキュメントやスプレッドシート、スライドを用いたレポートや発表視聴の共同編集を行います。 ・「スタディサプリの活動メモ」を用いて、自身の取組について記録を残してください。 									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	情報と知識を関連付け、結論やその理由を予想することを通じて、新たに自分が知らないことやわからないことを見つけたうえで、そのことを社会的な新規性や自分の好奇心を基準に、比較・順序付けることができる。			探究活動を通じて、自己の強みや興味関心を理解したり、それらから自己の発展性を理由付けたりしたうえで、自己の人生や将来、進路を見通すことができる。探究活動を通じて、ほかの教科で学ぶ知識・技能や思考力・判断力・表現			探究活動に主体的に取り組むことができ、さらに必要に応じて他者と協働することができる。			
評価材料	・ワークシート			・ワークシート ・プレゼンテーション ・振り返り			・ワークシート ・振り返り ・取り組みの観察結果			

科目名	C=プロジェクト		単元名	進路探究に向けて						
単元の目標	類型別探究活動の成果を振り返り、自身のキャリア形成に必要な事項について整理・分析を行う。また、3年次の進路探究に向けた見通しを持つ。									
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・類型別探究活動の内容をふまえ、個人で取り組みます。 ・3年次で実施する進路探究において、自身のキャリア形成のため必要なことについて調査し、それをもとに進路探究の見通しを持ちます。なお、3年次の進路探究は個人で取り組むことを予定しています。 ・単元の最後に振り返りを行います。自身の取り組みを客観的に見直し、自身の学習改善につなげたり、メタ認知能力を向上させたりしてください。 ・webによる調査、ドキュメントやスプレッドシート、スライドを用いたレポート作成を行います。 ・「スタディサプリの活動メモ」を用いて、自身の取組について記録を残してください。 									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	類型別探究の内容と自身のキャリア形成を関連付け、自身の学びたいことや実現したいことを基準に、調査したり、比較・順序付けることができる。			類型別探究を通して発見した、自己の強みや興味関心を深く理解したり、それらから自己の発展性を理由付けたりしたうえで、自己の人生や将来、進路を見通すことができる。			自身のキャリア形成に必要な事項について主体的に検討し、必要に応じて他者と協働することができる。			
評価材料	・ワークシート			・ワークシート ・振り返り			・ワークシート ・振り返り			

学期	月	単元		項目
前期	4	類型別探究	オリエンテーション	・1年間の流れの確認
	5		類型別探究に向けて	・適性検査 ・類型の決定
	6		(科目選択ガイダンス)	
	7		課題の設定	・グループの決定 ・探究のイントロダクション
	8		課題の設定	・探究課題の決定
	9		情報の収集	・取材 ・アンケート調査 ・校外での活動
後期	10	整理・分析	・収集した情報の整理 ・課題の解決に向けたまとめ	
	11	まとめ・表現	・ポスターの作成	
	12	類型別探究発表会 ・類型別探究の振り返り	・ポスター発表	
	1	進路探究に向けて	キャリアについて考える	・志望理由の検討 ・将来の学びの見通し
2				
3				